

2025. 9.28 Sun

at Tokyo Metropolitan Theatre

主催：一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

助成：文化庁

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））

独立行政法人日本芸術文化振興会



<https://www.tkwo.jp/>

つくる。つむぐ。つなぐ。
東京佼成ウインドオーケストラ

兼田 × マスランカ ~TKWOが奏でる
「これまで」と「これから」



第170回 定期演奏会 マスランカ・チクルス Vol.3

Maslanka Cycle vol. 3

【指揮】大井剛史 (常任指揮者)

Ooi Takeshi, Principal Conductor



©Ayano Shindo



PROGRAM | プログラム

30周年記念ファンファーレ [1990年委嘱作品]／兼田 敏

30th Anniversary Fanfare / Kaneda Bin

シンフォニックバンドのためのパッサカリア／兼田 敏

Passacaglia for Symphonic Band / Kaneda Bin

ロンド・マーチ／兼田 敏

RONDO MARCH / Kaneda Bin

機関車ちゅうちゅう／兼田 敏

CHOO CHOO THE LITTLE ENGINE / Kaneda Bin

ウィンド・オーケストラのためのシンフォニック・ヴァリエーション [1977年委嘱作品]／兼田 敏

Symphonic Variation for Wind Orchestra / Kaneda Bin

吹奏楽のためのバラードIV [1997年委嘱作品]／兼田 敏

Ballade IV for Symphonic Band / Kaneda Bin

休憩 Intermission [20分]

交響曲第5番／D.マスランカ

Symphony No.5 / David Maslanka

第1楽章 適度に I. Moderate	第2楽章 適度に II. Moderate	第3楽章 ゆっくりと III. Slow	第4楽章 とても速く IV. Very Fast
-------------------------	--------------------------	-------------------------	-----------------------------

■ 注意

- 本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- 携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- 演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮ください。

本公演に関するアンケートへ
ご協力ください。



PROFILE | 指揮者プロフィール

常任指揮者

大井剛史

Ooi Takeshi

Principal Conductor



©Ayane Shindo

2024年4月、東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者に就任。

17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、同大学院指揮専攻修了。若杉弘、岩城宏之の各氏に指導を受ける。1996年安宅賞受賞。スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラブチェフスキーの各氏に指導を受ける。

2007～2009年チェコ・フィルハーモニー管弦楽団で研修。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞。在学中より東京二期会、新国立劇場などのオペラ公演で副指揮者をつとめ、2002年「ペレアスとメリザンド」(ドビュッシー)を指揮してデビュー。その後はオペラのほかバレエ、ミュージカル、日本舞踊との共演など多くの舞台公演を指揮。

仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者(2000～2001)、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者(2009～2016)、山形交響楽団指揮者(2009～2013)、同正指揮者(2013～2017)、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者(2014～2024)を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮している。

レパートリーは極めて広く、オーソドックスな管弦楽／吹奏楽の作品を中心として、現代音楽の初演、ゲーム音楽、映画音楽、ポップスなどありとあらゆる音楽を手がける。トーク付きのコンサート、また子供のためのコンサートなどを通じて、より多くの方々に音楽に親しんでいただくことに情熱を注いでいる。

東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)、尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

PROGRAM NOTES

曲目解説：中橋愛生 (TKWO楽芸員)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

兼田敏について

兼田敏は1935年9月9日に旧満州に生まれた、今年が生誕90年となる作曲家。兼田は終戦後の小学5年生の時に引き揚げ京都に転居、京都市立上京中学校に進学した。この中学校の吹奏楽部に入部した兼田はホルネットを担当しつつ作編曲も行い、音楽の才能を開花させた。同部の指導者・山下清孟は音楽コンクール(現:日本音楽コンクール)ピアノ部門で入賞した後に教員となった人物で、打楽器奏者ツトム・ヤマシタの父でもある。兼田と同時期に同部に所属した者は宇宿允人(指揮)、中川良平(ファゴット)、北村源三(トランペット)、伊藤清(トロンボーン)など錚々たる顔ぶれ。この環境が兼田の音楽を育んだと言えよう。その後、堀川高校音楽課程(現:京都堀川音楽高校)を経て東京藝術大学作曲科に入学、下總皖一に師事した。大学3年次に音楽コンクール・作曲部門に室内楽作品で第2位、4年次に管弦楽作品で第1位を受賞し鮮烈なデビューを飾る。大学在学中は吹奏楽作品の作曲こそしていないがアマチュア・バンドの指導は積極的に行っており、大学を卒業した年である1959年には日本鉱業株式会社(現:ENEOSホールディングス)日立吹奏楽団を指揮して全日本吹奏楽コンクール戦場の部で優勝している。

兼田が吹奏楽に作品を供するようになったのは、1962年にアメリカのスクール・バンドが演奏するための曲として編曲した『日本民謡組曲《わらべ唄》』以降のこと。同曲は1974年にアメリカの楽譜出版社から出版されており、これは邦人作品としては最初期の例である。1964年には全日本吹奏楽コンクール課題曲として『吹奏楽のための楽章《若人の歌》』を発表。これは戦後としては初の邦人による行進曲以外での課題曲である。1966年には東京藝術大学での知己であり当時NHK交響楽団のチューバ奏者でヤマハ吹奏楽団の指揮者でもあった原田元吉の勧めにより、吹奏楽のための編曲を手がける。これが翌年からヤマハ音楽振興会からの委嘱で始まった小・中編成のための編曲『ヤマハ吹奏楽シリーズ』(YBS)計60曲へとつながった。このYBSの編曲のために大学時代からの盟友である作曲家・保科洋に声をかけ吹奏楽の世界へ誘い込んだエピソードもよく知られている。その後、兼田は生涯で50曲ほどの吹奏楽作品を発表している。

兼田はまた、作曲だけではなく様々な形で吹奏楽の発展に貢献している。まだ東京佼成吹奏楽団という名前だったTKWOが初の商業録音を行ったのは1968年だが、そのときの指揮は兼田であり、まだ吹奏楽のレパートリーがそれほど知られていなかった日本にコーディル『吹奏楽のための民話』といった曲を紹介している。教育者としては、ヤマハ音楽振興会の設立したネム音楽院での講師にはじまり、岐阜大学、愛知県立芸術大学で教鞭を執り、多くの人材を育てた。その中には小澤俊郎や真島俊夫といった日本の吹奏楽を牽引する人物も少なくない。日本最大の指導者講習会であるジャパン・バン

ド・クリニックを創設した「名古屋－吹奏楽指導者クリニック委員会」が現在の「日本バンドクリニック委員会」に改組されたのは1974年であるが、その中心となったのも兼田だ。クリニシャンとしての活動も幅広く、TKWOが1981年から1990年まで開催した「普門バンドフェスティバル」での課題曲クリニックにおける名調子を記憶している人もあろう。

このように吹奏楽の発展に心血を注いだ兼田は、2002年5月17日に肺癌からの転移による病のため66歳で没した。最後の作品はフランス民謡を吹奏楽に編曲した『「アビニョンの橋の上で」音楽に合わせて"じゃんけん・ポン!"』だった。

兼田 敏作曲

30周年記念ファンファーレ

1960年5月に結成されたTKWOの創立30周年を記念して委嘱されたファンファーレ。1990年11月24日に立正佼成会・法輪閣にて行われた「東京佼成ウインドオーケストラ結成30周年記念式典」において初演されている。トランペット3、ホルン4、トロンボーン3、ユーフォニアム(div.)、チューバ(div.)という金管のみの編成での40秒ほどの作品で、スコアには「1990年10月」および「Nagakute」(愛知県長久手市)と記されている。

兼田 敏作曲

シンフォニックバンドのためのパッサカリア

兼田の代表作の一つとしてよく挙げられるこの曲は、1971年に音楽之友社の委嘱で同社の創立30周年記念行事のために作られた。パッサカリアとは一つの低音主題を変容させつつ繰り返す舞曲的な性格を持つ変奏曲の一種。兼田の本作も同様に、冒頭で示された主題を18回繰り返しつつ多様なスタイルで展開する。兼田が「中学校や高等学校のバンドで演奏可能な演奏技術で、音楽の楽しみや喜びが味わえるようなものを書きたいと思いました。」と語っている通りであるが、その音楽的完成度の高さは特筆ものであろう。

このパッサカリア主題は12個の音から成るが、その音高は全て異なっている。しかし、いわゆる12音技法を用いているわけではなく、変ホ長調という明確な調性を持っている。兼田の弟子である作曲家・成木理香によると、このような音列作法的な方法で作られた曲は少なくないという。兼田の氏である下總皖一は童謡『たなばたさま』などで知られる作曲家であるが、ドイツでヒンデミットに師事しており、東京藝術大学でもドイツ系エクリチュールに立脚した指導をしていた。兼田の書法のルーツはこのようなところにもあるのだろう。

兼田 敏作曲

ロンド・マーチ

バンドジャーナル誌の1964年7月号に付録として掲載された、兼田のほぼ知られていなかった楽曲。残念ながら当時のバンドジャーナル誌に楽曲に関する一切の記述は無く、兼田自身が何処かで触れたものにも行き当たらなかったため、詳細は不明。付録掲載の1964年は前述の通り兼田の『若人の歌』が全日本吹奏楽コンクール課題曲として採用された年である。『若人の歌』は兼田の2作目の吹奏楽作品であるため、『ロンド・マーチ』も最初期の作品だ。これは推測であるが、1963年までの課題曲は行進曲が通例だった。課題曲作曲の打診を受けていた兼田は当初は行進曲を構想していたが、吹奏楽連盟からそれ以外の曲種を依頼されたために実現しなかった楽想を結実させたのではなかろうか。この曲、1964年度の新潟県吹奏楽コンクールにおいて新潟市立白新中学校が演奏した記録があり、必ずしも付録のために作られたとは限らない。

曲は行進曲のスタンダードな形式に依っているが、それは「A-B-A-C-A-B-A」というロンド形式にも非常に近い。タイトルはそのスタイルにちなんでいるのだろう。

兼田 敏作曲

機関車ちゅうちゅう

同じくバンドジャーナル誌の1964年12月号に付録として掲載された楽曲。こちらも詳細は不明であるが、音楽之友社によるとアメリカの絵本作家バージニア・リー・パートンの『いたずら きかんしゃ ちゅうちゅう』を題材にしたとされている。同本はアメリカでは1937年に出版され、日本では1961年に村岡花子の訳により出版されている。重い客車を運ぶのに飽きた機関車（楽譜での表記は汽関車）が、独りで走って注目を浴びたいと脱走するも動けなくなり、仲良しの機関士たちが迎えにくる、という物語だ。『ちゅうちゅう』は機関車の名前だが、元々は英語で蒸気機関車の音を表現する幼児語。形式としては行進曲のスタイルに依っているが、独特の音遣いがとてもユニークだ。

兼田 敏作曲

ウィンド・オーケストラのためのシンフォニック・ヴァリエーション

TKWOの委嘱により1976年11月から77年8月にかけて作られたもの。しかし、1978年が立正佼成

会の創立40周年での祝典演奏などのため定期演奏会が行われなかったため、初演は1979年2月25日に行われた第24回定期演奏会まで待たなければならなかった。初演時の指揮は手塚幸紀。初演の半年後には秋山和慶の指揮でレコードが販売されている。

タイトルが示す通り変奏曲のスタイルで作られており、吹奏楽を構成する個々の楽器の音色や、全体としての交響的な響きなどを最大限に活かした傑作。『パッサカリア』の項で前述したような巧みなエクリチュールと主題労作が光る。なお、出版譜には『交響的変奏』という邦題も見られる。

曲は3つの要素を含む主題が提示される「テーマ」に始まり、快速な走句とコラールの楽想が交歓する第1変奏、木管のみによる第2変奏、金管を主体とした第3変奏、優雅なワルツ風の第4変奏、力強く最後には雄大なコーダも持つ第5変奏、となっている。

兼田 敏作曲

吹奏楽のためのバラードIV

こちらはTKWOの1997年の委嘱作品。同年の8月から作曲が開始され、スコアの最終ページには「1997年12月20日」の日付が記されている。初演は1998年11月21日に行われたTKWO大月公演にて、フレデリック・フェネルの指揮による。

兼田には『バラード』とされた曲が5曲あり、『Ⅰ』が1981年作、『Ⅴ』が1999年作と、その創作期のほぼ全てにわたったシリーズとなっている。前出の成本によれば生前の兼田は「ショパンのバラードは4番までだから、それより多く書く」と語っていたそうだが、その真意はともかく思い入れの強いテーマであったことは間違いない。バラードとは元来は叙事詩あるいはそこに曲を付けられた声楽曲を指す語だったが、ロマン派以降になると同様の性格を帯びた器楽曲にもこのタイトルが付けられるようになった。兼田のバラード各曲はそれぞれ異なった性格でありつつも、同様にどこか劇的な抒情性を持つ。兼田は自身の作品について詳細に語ることは極めて稀で、解釈を聞き手に委ねることがほとんど。この曲が1999年にアマチュア・バンドによって再演されたときに兼田が記した文を紹介しておこう。「文化系クラブだった筈の吹奏楽が今や全くの体育系クラブに見えるし、指揮者は音は作るが音楽は創らない。演奏会、コンクール等は運動会か競技会だ。それも狭い村社会の中での流行に乗った一種のファッションで個性のかけらもない。(中略)今思うと、こんなとりとめのないことをぼんやりしている頭の隅で思いながら作曲していたような気がします。」

デイヴィッド・マスランカ作曲

交響曲第5番



マスランカが遺した吹奏楽のための交響曲の全曲演奏を5年かけて成し遂げる〈マスランカ・チクルス〉の3曲目。マスランカが自身で完成させ番号を与えた交響曲は全部で9曲であり、このうち『第1番』（1971）と『第6番』（2004）が管弦楽作品で、他は全て吹奏楽のために書かれている。チクルスではこれまでに『第2番』と『第9番』という「最初と最後」を取り上げており、今回は「ちょうど真ん中」の番号である。

マスランカは1943年生まれのアメ리카の作曲家。オーバーリン音楽院からザルツブルグのモーツァルテウム大学への短期留学を経て、ミシガン州立大学にて修士号および博士号を取得した。様々な大学で教え、1990年以降はフリーランスの作曲家として活動、2017年に結腸癌のため死去するまでに管弦楽や合唱、そして吹奏楽のためにたくさんの作品を残している。その作曲スタイルは、自らの無意識「真の声」より生まれてくるもので、その衝動に突き動かされ、それに従うことで創られる、というようなもの。マスランカは1970年代半ばに精神のトラブルに見舞われるのだが、その心理療法から哲学書などを読むことによって、作曲スタイルを確かなものとする。代表作『子供の夢の庭』（1981）は、その一つの証といえよう。結果として生まれた作品は時として観念的・抽象的なものとなるが、それだけに高い精神性を持つことになる。また、マスランカの作品にはバッハの引用や、古い民謡もしばしば登場する。それらは多くの人々が何世代にもわたって歌われ続けたもので、「深く正しい」感覚に根ざした、人間の経験の深みと豊かさを体現したものであるからなのだという。マスランカ自身の作品も、それらと根を同じくする延長線上にあるという考えなのだ。そして、創作のテーマは「喪失」、「悲嘆」、「変容」が主となっている。

さて、マスランカは1995年に『ミサ』という作品を完成させている（2005年に改訂）。構想に20年以上をかけた、ソプラノ、バリトン、混声四部合唱、児童合唱に吹奏楽という編成による1時間40分の大作だ。ラテン語によるミサ通常文をテキストとしたこの曲は、「変容」を人生の命題と考えるマスランカにとって、それを声明したものであり、それは「自我の開放」と「内なる子の誕生」を象徴する「復活」であり、神秘的な文と「死んだ言語」で心の開放と神とのつながりを語るものであるという。マスランカは自身の創作物について、「1994年以前のはミサへの前奏曲であり、それ以降のものはミサへの考察である」と断言している。そして、この『交響曲第5番』も例外ではなく、『ミサ』の補遺のような位置付けとされている。

『交響曲第5番』は、イリノイ州立大学とその指揮者スティーブン・スティールを中心とした33の組織による共同委嘱で作曲され、2000年11月2日に完成、2001年2月24日にCBDNA（全米大学吹奏楽指導者協会）全国大会のコンサートにおいてイリノイ州立大学ウインド・シンフォニーによって初演され

た。『ミサ』で歌われる「キリストの死と復活」に基づくものであるが、マスランカによると「ストーリーを説明しようとするのではなく、むしろ変容のテーマ、つまり涙が力に変わることで、そして死に対する生の勝利を絶えず語りかける」ことが主眼となっている。結果、「明るく希望に満ちたエネルギーに満ちて」いるとすることで、曲のキーワードとして「激怒」、「怒り」、「圧倒」が挙げられている。そのため、マスランカの作品としては比較的珍しく外向的なバイタリティが感じられよう。

曲には素材としてヨハン・セバスチャン・バッハ『371の四声コラール集』から3曲が引用されている。マスランカは大学1年生のときにこのコラール集に出会い、1991年以降この曲集を弾き歌うことで日々のウォーミング・アップとしていたという。マスランカにとってこの曲集は「深い井戸となり、夢の空間への大きなアクセス」で「別世界への神秘的な扉」となっていた。『交響曲第9番』もそうであったように、マスランカの作品にはしばしばこのコラール集から主題が採られている。

曲は4つの楽章で構成されている。

第1楽章：Moderate

バッハのコラール集で126番（出版譜によって番号が異なる場合があるが、本稿は1996年刊のベーレンライター社「新バッハ全集」による）にあたる『アダムの墮落によりすべては朽ちぬ BWV637』を主題とした楽章。異なる周期による上行スケールが印象的。キリスト磔の際の楔を打ち込むようなアンヴィル（金床）の音や、鞭打ちを象徴する付点のリズムも用いられる。

第2楽章：Moderate

コラール集165番『おお罪なき神の小羊 BWV401』を主題とする楽章。第1楽章と近似の雰囲気を持つが、ややスケルツォ的な性格を有する。

第3楽章：Slow

ユーフォニアムの独奏で綴られる「埋葬されたキリストをテーマにした瞑想曲」。ユーフォニアムは前に出て演奏するように指示されている。コラール集370番『キリストは死の絆につき給えり BWV278』が素材となっているが、抽象化され明確には聞き取れない。どこか東洋的な雰囲気を持つ歌を、カッコウの鳴き声を思わせる音などが彩る。

第4楽章：Very Fast

第3楽章と同じく『キリストは死の絆につき給えり』を用いた「本格的なファンタジア」。コラールの旋律がそのままの形で歌われていくなかで、様々な走句が駆け巡り、やがて音楽は静かに消えてゆく。

PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。

2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する

日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。

桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトマス・ザンデルリンク、

首席客演指揮者に飯森範親を擁している。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し

高い音楽芸術性を創出し、多くの人が楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 …… フレデリック・フェネル

常任指揮者 …… 大井剛史

特別客演指揮者 …… トマス・ザンデルリンク

首席客演指揮者 …… 飯森範親

楽芸員 …… 中橋愛生

指揮 …… 大井剛史

演奏 …… 東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolo …… 丸田悠太

Flutes …… 前田綾子、白戸美帆、内田彩菜美

Oboes …… 宮村和宏^{*}、桜田昌子 (English Horn)、
上原朋子

Bassoons …… 福井弘康^{*}、君塚広明 (Contra Bassoon)

Clarinet in E ♭ …… 木内倫子

Clarinet in B ♭ …… 大浦綾子、林裕子^{*}、野田祐太郎、
船橋菜里、河西拓也、後藤榛花、
徳武敦、福井萌、渡辺繁弥

Alto Clarinet …… 近野千昌 (Bass Clarinet)

Bass Clarinet …… 内山ちまり

Contrabass Clarinet …… 原浩介 (Contra Alto Clarinet)

Alto Saxophones …… 林田祐和^{*} (Soprano Saxophone)、
五十嵐健太

Tenor Saxophone …… 松井宏幸

Baritone Saxophone …… 栃尾克樹

Trumpets …… 奥山泰三、ガルシア安藤真美子、
本間千也^{*}、河原史弥、池田英三子

Horns …… 堀風翔^{*}、小助川大河、小山千鶴、
幸喜いずみ

Tenor Trombones …… 今村岳志^{*}、石村源海、山下純平

Bass Trombone …… 藤井良太

Euphoniums …… 岩黒綾乃、大山智 (Baritone)、鎌田裕子

Tubas …… 池田侑太、林裕人

Contrabass …… 前田芳彰

Timpani …… 坂本雄希

Percussion …… 和田光世^{*}、大河原渉、奥田真広、
高瀬真吾、藤井里佳、武藤厚志、
柳沢勇太、吉田開

Piano …… 鈴木慎崇

※演奏委員

コンサートマスター

林田祐和

副コンサートマスター

宮村和宏

インスペクター

栃尾克樹

丸田悠太

今村岳志

企画委員

原浩介

役員

理事長 …… 勝川本久

常務理事 …… 八反田弘

専務理事 …… 堀風翔

監事 …… 清水宏一

事務局

事務局長 …… 勝川本久

事務局長次長 …… 堀風翔

事務局長補佐 …… 八反田弘

制作

篠原華

大橋証太 (ステージマネージャー)

羽田紀子 (ライブラリアン)

広報

尾崎真也

荻沼美帆 (チケットサービス)

賛助会・サポーターズクラブ

荻沼美帆

尾崎真也

佐原由起

営業

森ゆかり

総務

佐原由起

竹内正道

山内真由子 (パーソナルマネージャー)

経理

竹内正道

賛助会員

今後も音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間：会費納入翌月より1年間

お問い合わせ：東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX: 03-5341-1255 MAIL: patronage@tkwo.jp

賛助会員の皆さま

五十音順、敬称略で掲載させていただいております。(2025年9月1日現在)

法人会員

特別会員 (株)佼成出版社

維持会員 エーユーツーリスト((株)アコード) 名古屋 宗次ホール

賛助会員	株式会社アシストジャパン 遠藤製作所 遠藤悦治 株式会社CAFUAレコード 建友商工(株) 株式会社全音楽譜出版社 株式会社辰美製作所 フォスターミュージック株式会社 みずほ証券株式会社	アトリエ・エム株式会社 海鮮食堂余市の仲間達 管楽器専門店ダク 鈴木住地(有) 立花産業(株) 中央鉄鋼 有限会社 株式会社プリマ楽器 柳澤管楽器株式会社
------	--	--

個人会員

特別会員	天野 正道 林 總太郎 山内 幸人	加賀美 猛 久末とまこ	田中 淳子 古沢 秀明	林 正作 ミーゴ
------	-------------------------	----------------	----------------	-------------

匿名6名

維持会員：155名 / 賛助会員：85名



SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員
募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。

TKWOをもっと身近で特別な存在に♪

サポーターズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら

PR Supporters

PRサポーターの皆さま

敬称略で掲載させていただいております。(2025年9月1日現在)

TKWOのチラシやポスターの設置にご協力いただいている皆さまをご紹介します。

▼店舗等一覧

アルル音楽教室
(株)コマキ楽器 ジャパンパーカッションセンター
ブレーン株式会社 広島本社
ブレーン株式会社 東京支社
(株)管楽器専門店ダク
ミュージックスクール「ダ・カーポ」
(株)セントラル楽器
日本大学芸術学部音楽学科 江古田校舎
管楽器雑貨専門店pitch
ザ クラリネット ショップ
(株)ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
(株)永江楽器水戸
野中貿易(株)
ヤマハミュージック 横浜みなとみらい
株式会社 池袋音楽学院
株式会社CAFUAレコード
大江戸シンフォニックウインドオーケストラ
ドレミファクトリー
フルート専門店 テオバルト
アトリエ・エム株式会社
イシバシ楽器 横浜店

フォルテ・オクターヴハウス
管楽器専門店ウィングスタイル
フォスターミュージック株式会社
金管楽器修理調整 浅香工房
葡萄房 by THE CAMEL
吹奏楽酒場「宝島」
金寿司
フローリスト花六
中華 大栴
おぐセンター
ワイン酒場トンマーズ
小林メディカルファミリー薬局
天ふじ
立花産業株式会社
方南町 共立薬局
御菓子司 大和や

▼個人のお客様

渡邊 直子
樫野 哲也

東京佼成ウインドオーケストラでは
PRサポーターを募集しております。

東京佼成ウインドオーケストラの活動をサポートしていただけますか？
ポスター・チラシの掲示、チラシを設置していただける店舗・公共施設を募集しております。(個人も含む)ご協力いただける皆さまのご芳名は定期演奏会プログラム・オフィシャルサイトに掲載させていただきます。

Tokyo Kosei Wind Orchestra
2025-26 Season Concert Schedule
定期演奏会スケジュール

第171回 定期演奏会

英国吹奏楽の祭典

2025年 11月23日[日] 開演14:00(開場13:00)

東京芸術劇場 コンサートホール

指揮 **ダグラス・ボストック**



- 曲目
- フローリッシュ／R.ヴォーン・ウィリアムズ
 - 「ハマスミス」プレリュードとスケルツォ／G.ホルスト
 - ウィリアム・バード組曲／G.ジェイコブ
 - ファイアダンス／G.ウールフェンデン
 - 交響曲第3番「カラー・シンフォニー」／P.スパーク

S席:¥7,500 A席:¥6,000 B席:¥4,500 C席:¥3,500 U25:¥2,500

好評
発売中

第172回 定期演奏会

今ここから羽ばたく吹奏楽

2026年 1月11日[日] 開演14:00(開場13:00)

東京芸術劇場 コンサートホール

指揮 **大井剛史**(常任指揮者) 独奏 **宮田 大**(チェロ)



- 曲目
- よろこびの翼／J.カーナウ
 - チェロ協奏曲[TKWO委嘱新作・世界初演]／向井 響
 - my butterflies for wind orchestra [2012年デュポール大学音楽学部との共同委嘱作品]／藤倉 大
 - 彩をえがく鳥／芳賀 傑
 - ピース、ピースと鳥たちは歌う／伊藤康英

S席:¥6,500 A席:¥5,000 B席:¥4,000 C席:¥3,000 U25:¥2,500 ■発売日:2025/9/29(月)



東京佼成ウインドオーケストラ 公演情報

ファンタスティック☆クリスマス2025
吹奏楽で聴く人類の宝「第九」

2025年 12月19日[金] 開演19:00

サントリーホール 大ホール

指揮 **松井慶太** ソリスト **隠岐彩夏**(ソプラノ) **山下牧子**(メゾソプラノ)

笛田博昭(テノール) **加藤宏隆**(バス)

合唱 **東京混声合唱団**

- 曲目
- 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」序曲／E.フンパーディンク／J.カンツ 編
 - 交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付き」／L.v.ベートーヴェン／保科洋 編

S席ペア(限定100組):¥13,000 S席:¥8,000 A席:¥6,000 B席:¥4,500 U25:¥3,000

好評
発売中

吹奏楽名曲コンサートin小山

2026年 2月8日[日] 開演:15:00

小山市立文化センター 大ホール

指揮 **大井剛史**(常任指揮者)

みんなの「押し曲」コンサート

2026年 2月11日[水・祝] 開演14:00

東京芸術劇場コンサートホール

指揮 **大井剛史**(常任指揮者) 司会 **中橋愛生**(楽芸員)

課題曲コンサート2026

2026年 3月23日[月] 開演19:00

東京芸術劇場コンサートホール

指揮 **大井剛史**(常任指揮者)

好評発売中

Original goods

TKWO オリジナルグッズ



New



楽器クロス

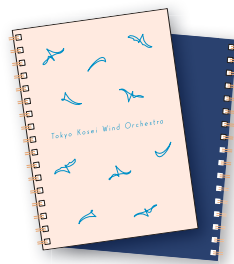


ネイビー

Tシャツ

ホワイト

ブラック



リングノート



トートバッグ



アクリルキーホルダー



缶バッチ



東京佼成ウインドオーケストラ
60年史

ほかにも多くの商品をご用意しております。



ご購入・詳細はこちら

TKWO 吹奏楽カフェ



定期演奏会に先立ち、大井剛史（常任指揮者）&中橋愛生（楽芸員）が、公演の演奏曲や作曲者にまつわるエピソードなど、通常の楽曲解説とはひと味違う視点から語ります。ここでしか聞くことのできない会場限定の裏話などもございます。今回は、11月23日開催の第171回定期演奏会についてご紹介いたします。

第8回

2025年 10月28日[火] 19:15 開店

管楽器専門店ダク「スペースDo」 最寄駅「新大久保」駅

料金 2,500円(税込) 詳細は公式サイトをご確認ください

■ 共 催：管楽器専門店ダク



Vincent Bach — The Art of Sound



バック・トランペット
販売開始100周年

本間 千也
AB190GLSP

奥山 泰三
AB190GL

TOKYO KOSEI WIND ORCHESTRA

東京佼成ウインドオーケストラ

ガルシア 安藤 真実子
120MLJ7SP

河原 史弥
180MLJ7SP

PHOTO by Masamichi DOH

NOVAKA

いい楽器をあなたのもとへ

総代理店 株式会社ノバカ 東京都中央区新富1-10-1 株式会社野中貿易株式会社 231-0211 東京都中央区新富1-10-1 www.novaka.com





KOSEIレーベルを 音楽配信サービスで

iTunes、Apple Music、Spotify、Amazon Music、LINE MUSICを
はじめとする各音楽配信サービスにて1000曲を超える楽曲を好評配信中！
1979年の初リリース以降、ポジティブに、かつ体系的に送り出されたコンテンツは、
質・量ともに他の追従を許さない。世界に類例を見ない吹奏楽曲の数々を配信で！

主な配信サービス



iTunes



Spotify



Amazon Music



LINE MUSIC

LINE MUSIC

株式会社 佼成出版社
〒166-8535 東京都杉並区和田2丁目7-1 普門メディアセンター
03-5385-2311(代表)



Xeno TRUMPET 35th & TROMBONE 30th ANNIVERSARY CONCERT

2025.10.16 THU 18:30 OPEN / 19:00 START

in ヤマハホール

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14



伊藤 駿

〔東京都交響楽団〕

大西 敏幸

〔日本フィルハーモニー交響楽団〕

菊本 和昭

〔NHK交響楽団〕

後藤 慎介

〔パシフィック・フィルハーモニア東京〕

辻本 憲一

〔読売日本交響楽団〕

中山 隆崇

〔東京都交響楽団〕

TRUMPET

G. ロッシーニ/E. モラレス：「セヴィリアの理髪師」序曲
T. スティーブンス：トライアングルI

B. プリテン：聖エドモンズ墓地のためのファンファール
A. ブログ：組曲 ほか



青木 昂

〔読売日本交響楽団〕

葛西 修平

〔読売日本交響楽団〕

栗田 晃

〔読売日本交響楽団〕

山口 隼士

〔シエナ・ウインド・オーケストラ〕

TROMBONE

J. S. バッハ：前奏曲とフーガ
S. ラフマニノフ：歌うなかれ、美しい人よ ～6つの歌op.4より～

D. ファレルリス：タイミング・ジャイアンツ
ほか

※曲目は変更となる場合がございます。

料金 【全席指定】一般 5,500円 / 学生 3,500円 ※全て税込
※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

【WEBでの購入】チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード【306-308】

チケットぴあはコチラ▶

【ご来店での購入】ヤマハ銀座店インフォメーション 東京都中央区銀座7-9-14 〈営業時間〉11:00～18:30 〈定休日〉火曜日
【お電話での購入】株式会社ヤマハミュージックジャパン アトリエ東京 Tel. 03-3574-0619 ※平日10:30～18:30

お問い合わせ 株式会社ヤマハミュージックジャパン アトリエ東京 Tel. 03-3574-0619 ※平日10:30～18:30



ヤマハ銀座店

検索

後援：日本トランペット協会、日本トロンボーン協会 協力：ヤマハ管楽器特約店 主催：株式会社ヤマハミュージックジャパン

株式会社ヤマハミュージックジャパン